

授業科目名： 国際政治の理論と方法			担当教員名： 畠山京子
選択/必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 1 後	開講言語： 日本語

ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●	●	

○授業の到達目標及びテーマ

本授業の目的は、国際政治の理論と方法に関する基本的な知識を教授し、国際政治に関する様々な研究を実施する能力を養うことである。

○授業の概要

【オンライン授業形態】

授業形態 : オンライン授業 (ライブビューイング型)

資料・連絡事項掲載場所 : 担当教員に確認

国際政治は複雑である。しかし理論的な枠組みを通して分析すれば、意外とシンプルでもある。国家行動の説明が可能となるだけでなく、将来行動の予測も可能となる。本授業では、リアリズム、リベラリズム、構造主義、コンストラクティビズム、マルキシズムなどの様々な国際政治理論について、事例を使用して学ぶ。本コースでは、国際政治理論に対する知識を深めるだけでなく、論理的思考能力を養うことを目的とする。

○授業の方法

毎回の授業では、パワーポイントを基に担当教員が講義を行い、さらにそれに基づいたディスカッションを実施する。受講生は下に示された文献に前もって目を通し、積極的に議論に参加することが求められる。

さらに受講生は3000字程度のターム・ペーパーを提出する。ターム・ペーパーのテーマは、担当教員が適宜指示をする。

○授業計画

- 第1回 授業の紹介
- 第2回 パワーとは何か
- 第3回 古典的な国際政治 (ウェストファリア体制)
- 第4回 古典的現実主義
- 第5回 ネオリアリズム
- 第6回 ネオクラシカルリアリズム
- 第7回 リベラリズム
- 第8回 ネオリベラリズム制度論
- 第9回 マルキシズム
- 第10回 従属論、
- 第11回 世界システム論
- 第12回 構成主義

第13回 規範、アイデンティティ、アイデア
第14回 政策決定論（アリソンの3つのモデル）
第15回 まとめ

○テキスト

大芝亮『国際政治理論:パズル・概念・解釈』 ミネルヴァ書房 2016

○参考書・参考資料等

○学生に対する評価

- 1) ディスカッションへの参加度：40%
- 2) タームペーパー：60%

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態：オンライン授業（リアルタイム配信型）

資料・連絡事項掲載場所：担当教員に確認